

# ダウンロードの方法

インターネットの検索サイトから

「文部科学省」を検索

「子ども読書の情報館」を検索

## 文部科学省ホームページ

トップページにある「幼児教育・家庭教育」をクリック。



<http://www.mext.go.jp/>

「幼児教育・家庭教育」のページにある「子ども読書の情報館」をクリック。



はじめてみませんか  
絵本の読み聞かせ

## 子ども読書の情報館

トップページにある「はじめてみませんか 絵本の読み聞かせ」をクリック。



<http://www.kodomodokusyo.go.jp/>

## パンフレット 絵本で子育てを楽しく

見開きが必要なページだけなど、自由に活用できます。



リンクは原則フリーです。リンクの設定をされる際は「子ども読書の情報館」へのリンクである旨を明示してください（事前のご連絡は必要ありません）。

# 絵本で子育てを楽しく

パンフレットのご案内



## はじめてみませんか絵本の読み聞かせ

パンフレットの  
ダウンロードの方法は  
裏面をご覧ください。

パンフレットの  
主な内容は  
中面をご覧ください。



パンフレット  
「絵本で子育てを楽しく」  
表紙共16ページ  
(データはA4判で作成されています)

子ども読書の情報館 で 検索

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。  
Adobe Readerをお持ちでない方は、以下のURLからダウンロードして、インストールしてください。 <http://get.adobe.com/jp/reader/>



# 「読み聞かせ」は楽しい子育てのキーワード

子どもとうまく  
コミュニケーションが  
とれない…

読み聞かせはふれあいの  
きっかけとなり、  
子育てを楽しくします。

**親子でいっしょに読み聞かせ**  
読み聞かせは、絵本や本を子どもに読んで聞かせ、幼い子どもがおはなしの世界に入りこむ機会を育むこと。子どもは親の感情や想像力を育む、ことばを覚える機会にもなります。親にとっても子どものすてきな表情を通して子育ての楽しさを感じるときです。

**親子で楽しい時間を過ごしていますか**  
テレビ・DVDなどの映像メディアと親の関わりかけには違いがあります。テレビなどは子どもの興味・関心に高次元で一方通行でつなげますが、読み聞かせはその子のペースをたどり、会話をしたりしながら読み進めることができます。

**家族のふれあいの時間を持とう**  
子どもは大人から成長します。絵本や本を子どもと一緒に楽しむ時間を大切にしましょう。

**読書の効果** ~小学生時代の体験を振り返って  
山形県鶴岡市在住の読書家さん(10代)は、個人兄弟の長男で現在高校生です。小学校の頃から、母の読書に誘われて読み聞かせをしてもらい、大きな「おはなし」は、絵本やおはなしから語源に浮かんでくる想像の世界が大好きでした。今は本を読むことで、いろいろな意見や考え方があり、自分の思いや意見が伝わるのが大好きです。今でも親が読み聞かせをしてくれ、みんな集まって聞かれています。

▲子どもの情緒や想像力を育てることだけでなく、親にとっても子どものすてきな表情を見られる時間になります。

読み聞かせは  
何歳くらいまですると  
よいの?

乳幼児期だけでなく、  
その先も  
子どもの年齢に合った本を  
読んであげましょう。

**読み聞かせの大切さ**  
子どもは、絵本などのおはなしを聞くことが大好きです。物語の世界にわたる体験はころを育てます。

**物語による体験が想像力を育てます**  
子どもが物語を聞いているときは、登場人物になりきって、想像の世界を自由に楽しんでいます。登場人物のうれしさや悲しさ、痛みなど、さまざまな感情が伝わることで、他人の感情や思いを知ることができます。物語の中で、いろいろな世界を体験することにより、想像力などを伸ばすことができます。

**耳からおはなしを楽しむ**  
子どもは、ことばを耳で聞かずに、耳からとんとん聞こえることばを吸収していきます。ことばを聞きながら、耳が聴いていないときも物語のイメージを保持したり、さまざまな感情や想像力を育てたりすることが大切です。

**文字が読めることと本を読むことは別です**  
子どもが「字が読めるようになったら」といって、読み聞かせをやめてしまいませんか。文字を読んでも、おはなしを楽しむことは変わりません。また、ひとりでは読めるようになったとしても、おはなしを聴くことは別物です。小学生は小学生の読み聞かせの楽しさがあります。

**「昔ばなし」の読み聞かせ**  
昔ばなしは、ことばで語り伝えられてきたおはなしです。昔の人の生活や文化が伝わるおはなしを聴くことは、子どもの成長につながります。

**読み聞かせはくむもの**  
小学校入学前に家庭で読み聞かせをしてもらった子どもは、読んでおもしろかった子どもよりも、小学校入学後に、読書に関する知識が30ポイント、読書態度(PISA・ピサ)の2009年調査結果によると、アクション(小説・物語文)や新聞を読むこと、読書を楽しむこと、子どもの成長につながります。

▲小学生には小学生の、中学生には中学生の楽しさがあります。

どんな風に  
読み聞かせを  
したらよいの?

子どもの  
発達段階に応じた  
読み聞かせを  
していきましょう。

**0歳～2歳頃の読み聞かせ**  
音やリズムを楽しもう  
0歳～2歳の頃  
子どもと楽しくふれあおう  
この時期の読み聞かせ  
子どもにうたを聞かせる  
2歳～6歳頃の読み聞かせ  
ことばやジャンルを広げよう  
この時期の読み聞かせ  
子どもと会話を楽しむ  
絵本以外のおはなしを楽しむ方法

▲読み聞かせのほかにも、うたや紙しばい、おはなしなど、家族で楽しむことばの遊び方があります。

絵本が  
読みたくなったら  
どこへ行けばよいの?

図書館など、  
無料で絵本が読めたり  
貸し出したりしている  
施設があります。

**絵本にふれる機会を増やそう**  
絵本はいろいろな場所にあります  
図書館など、無料で絵本が読めたり貸し出したりしている施設があります。

**家族みんなで図書館に出かけてみませんか**  
お父さん、お母さん、子どもで一緒に読み聞かせや、子どもが読みたい絵本を探してみよう。

**絵本を通じたイベントに参加してみよう**  
図書館や公民館、児童館、地域の施設で、「読み聞かせ」や「おはなしの会」など、さまざまなイベントを行っています。子育て中の親子やボランティアの人たちと交流する機会にもなります。

▲図書館をはじめ、公民館、児童館など、地域のさまざまな施設で絵本を読むことができます。